

理系大学生向け「自主ゼミ」ガイド

■自主ゼミとは？

自主ゼミとは、**学生が自発的に行う勉強会**のことです。理系の場合、一冊の本を互いに発表しあう輪講形式が基本的ですが、**理系の大学生活を充実させたい人は今すぐ始めるべき**だと自信を持って言えます。このガイドでは、自主ゼミの魅力と始め方を紹介します。

■自主ゼミの魅力

① 大学の講義ではなぜダメなのか

大学の講義があまり面白くない、と感じたことはないでしょうか。それは先生の教え方が悪いからではありません。講義で扱う内容は高度で専門的なうえ、限られた回数で多くを扱う必要があり、学生の意欲にもばらつきがあるからです。対して**自主ゼミは能動的な学習**です。講義のペースに縛られず、自分たちの興味や理解度に合わせて進められるため、疑問を放置せず納得できるまで向き合うことができます。

② 1人では得られない学び

専門的な内容を1人で勉強していると、「なんとなく分かったつもり」になりがちです。人に説明しようとして言葉に詰まり、理解の曖昧さに気づくこともあります。自主ゼミでは発表や質疑応答、議論を通して自分の考えを言語化するため、**1人で学ぶより理解が深まりやすくなります**。また、自主ゼミに集まるのは、基本的に勉強に前向きな仲間です。彼らと情報共有したり、互いに刺激を受けられたりすることも大きな利点で、こうした「**一緒に学ぶ仲間**」は**大学生活の大きな支え**になります。

③ 将来の準備になる

研究室に配属されると、少人数でのゼミや輪読が始まりますが、これは自主ゼミに近い形式です。学生のうちから自主ゼミに慣れておけば、研究室ゼミにもスムーズに入っていけます。更に、就職後の会議・報告会など、自分の考えをまとめて伝え、他者と意見交換をする場は必ずあります。**将来を見据えたときにも、自主ゼミは良い経験**になるでしょう。

■自主ゼミの始め方・進め方

ここまで読んだ皆さんなら、今すぐ自主ゼミを始めるべきだと納得してくれたのではないのでしょうか。とはいえ、「やりたいけれど、具体的な始め方が分からない」という人もいるはずです。ここでは、自主ゼミの始め方と大まかな流れを説明します。

① 人を集めよう！

当然ながら、1人では自主ゼミができません。普段から仲が良い友達とやるのもいいですが、真に誘うべきは「いつも熱心にノートを取っている人」や「先生に質問しに行く人」です。また人数ですが、**自分を入れて3～5人くらい**がちょうどいいです。このくらいだと全員が発言しやすく、負担も分散でき、いい意味で「サボりにくい」雰囲気生まれます。

② 内容を決めよう！

「なんとなく」で始めると自然消滅しやすいので、開始前に「何をどこまでやるのか」という**目標をはっきり決めましょう**。例えば、講義の予習・復習、院試対策、新しい分野の勉強などが考えられます。初めての自主ゼミであれば、予習を目的としたゼミが断然お勧めです。

③ 使用する参考書を決定し、用意する

参考書選びは自主ゼミ成否を決める重要ポイントで、難易度や内容を間違えるとゼミが崩壊してしまいます。「〇〇(分野名)自主ゼミ おすすめ」と検索するのも一つの手ですが、最も確実なのは、**大学の先生、学科の先輩やラーニング・サポートデスクに相談**することです。また、使用する参考書はかなり高価で全員分の用意が難しいですが、**附属図書館に所蔵されている**ことも多いのでそちらを利用してみましょう。本の所在については、図書館公式 HP で探すのがおすすめです。

④ 詳細なスケジュールと場所を決めよう！

次に、参加メンバーの担当範囲・日程・場所を決めます。内容や本のレベルにもよりますが、**週1回・1節ずつくらいのペース**がちょうど良いでしょう。場所については、**ホワイトボードが使える教室**が理想的です。先

生に相談すれば、空き教室を貸してもらえこともあります。あるいは、図書館2階のラーニング・コモンズ(後述)など、声を出して話せるスペースを選びましょう。なお、オンライン開催は上級者向けなので、対面がどうしても難しい場合に限るのが吉です。

⑤ **担当範囲を本気で準備する！**

各回のゼミをどれだけ有意義なものにできるかは、この準備にかかっています。当日はあなたが先生で、他のメンバーは生徒だと思って準備しましょう。計算や証明も手を動かして確認することです。また、発表のときはスライドやレジュメがあると理解が進みやすくなります。余裕がないときでも、せめて自分のノートや式を印刷して配るなど、聞き手が手元で追える資料は用意しておきましょう。

⑥ **いざ、ゼミ本番！**

さあ、ゼミ本番です。発表者の場合と聞き手の場合の留意点を書いておきます。

◎発表者の場合

相手は生徒であるという事を念頭に置き、分かりやすく論理的に発表しましょう。逐一、「ここまで大丈夫ですか」と確認するのもよいです。

◎聞き手の場合

聞き手が頷いたり確認してくれたりすると、発表者が講義を進めやすいです。また、**質問を必ず1人1回行う**べきです。質問はやがて議論になり、議論によって疑問解消やより深い理解ができるのです。**議論を行うことを意識**しましょう。

⑦ **当日の記録と反省を行う！**

相手は高度で専門的な学問です。どうしても分からない事、ゼミによって新たに発生した疑問があるでしょう。そういった**疑問は記録**し、次のゼミまでに解決しましょう。ゼミの内容によっては、先生に聞きに行くというのも手です。また、必要に応じてゼミを振り返り、日程や分量、進め方を調整しましょう。自主ゼミは自分たちが主導権を持つので、試行錯誤するのも貴方の自由です。

■最も重要なこと

自主ゼミにおける当初の目標はほぼ確実に失敗しますし、空中分解します。
サボり、アルバイト、テスト期間、家庭の事情、参考書選定に失敗、など理由は様々ですが、日程調整ができず人数減少でゼミ回数が減少し、やがて自然消滅するのが王道パターンです。

それでも、やってみる価値は十分にあります。 例え途中で消滅したとしても、先述したような多くのメリットを感じることができます。何より、**自主ゼミは完全に自由な場**です。単位も成績も関係ないので、失敗してもダメージ0です。ときには「ゼミのメンバーと遊びに行く」くらいの脱線があってもいいでしょう。自主ゼミを通して得られた出会いと経験は、貴方の今後の人生で必ず生きてくるはずです。

■終わりに

いかがでしょうか。長くなりましたが、それだけ自主ゼミに魅力が詰まっているという事です。このガイドで、自主ゼミについて興味を持ってくれたら、軽い気持ちで開いてみましょう。きっといい影響を得られるはずです。

■おまけ：自主ゼミをサポートする図書館

図書館では[ラーニング・サポートデスク](#)や[ラーニング・コモンズ](#)など、自主ゼミのサポートも行っています。図書館は照明や空調が完備されています。すぐ近くに本や資料もあり、ゼミで出てきた疑問の解消にもピッタリ。場所に困ったら利用してみてはどうでしょうか。